

東海北陸厚生局長 殿

開設者名 静岡県立静岡がんセンター
静岡県知事 川勝 平

静岡県立静岡がんセンターの業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
3. 高度の医療に関する研修の実績 研修医の人数 [] 人 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	122人	107人	195.0人	看護補助者	88人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	2人	6人	7.4人	理学療法士	6人	臨床検査技師	45人
薬剤師	28人	8人	33.6人	作業療法士	4人	衛生検査技師	1人
保健師	1人	0人	1.0人	視能訓練士	1人	検査その他の	0人
助産師	0人	0人	0.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	543人	52人	583.3人	臨床工学士	4人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	28人
歯科衛生士	2人	3人	4.7人	歯科技工士	0人	事務職員	120人
管理栄養士	4人	2人	5.8人	診療放射線技師	43人	その他の職員	2人

(注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。
それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	0.0人	0.0人	0.0人
1日当たりの平均外来患者数	0.0人	0.0人	0.0人
1日当たりの平均調剤数			0.0剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を歴日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ歴日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱い患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェット病	人	・膿疱性乾癬	人
・多発性硬化症	人	・広範脊柱管狭窄症	人
・重症筋無力症	人	・原発性胆汁性肝硬変	人
・全身性エリテマトーデス	人	・重症急性胰炎	人
・スモン	人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・再生不良性貧血	人	・混合性結合組織病	人
・サルコイドーシス	人	・原発性免疫不全症候群	人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・特発性間質性肺炎	人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	人	・網膜色素変性症	人
・特発性血小板減少性紫斑病	人	・プリオン病	人
・結節性動脈周囲炎	人	・肺動脈性肺高血圧症	人
・潰瘍性大腸炎	人	・神経線維腫症	人
・大動脈炎症候群	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ビュルガー病	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・天疱瘡	人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	人
・脊髄小脳変性症	人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・クローン病	人	・副腎白質ジストロフィー	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	人
・悪性関節リウマチ	人	・脊髄性筋萎縮症	人
・パーキンソン病関連疾患	人	・球脊髄性筋萎縮症	人
・アミロイドーシス	人	・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	人
・後縦靭帯骨化症	人	・肥大型心筋症	人
・ハンチントン病	人	・拘束型心筋症	人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	人	・ミトコンドリア病	人
・ウェグナー肉芽腫症	人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・多系統萎縮症	人	・黄色靭帯骨化症	人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人	・間脳下垂体機能障害	人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

合計

0 人

(様式第10)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

⁵ 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)「施設基準等の種類」欄には業務報告を行う3年前の4月以降に健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供したものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。		
	<input type="checkbox"/> 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度			
剖 檢 の 状 況	剖検症例数	例	剖検率 %

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
2					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
3					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
4					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
5					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
6					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
7					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
8					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
9					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
10					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
11					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
12					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
13					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
14					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
15					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
16					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
17					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
18					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
19					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
20					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
21					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
22					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
23					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
24					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
25					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
26					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
27					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
28					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
29					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
30					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委
31					<input type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合には「補」、委託の場合には「委」に「✓」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所 属 部 門
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 玉井 直
管理担当者氏名	画像診断科部長 遠藤 正浩 診療情報管理室長 小野 裕之 薬剤長 篠 道弘 看護部長 鶴田 清子 総務課長 斎藤 豊司 医事課長 小田 正美

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書	情報システム課	カルテは1患者1カルテとして電子媒体保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	総務課	
	高度医療の提供の実績	医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	総務課 管理課	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	担当課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課	

規則第1条の1-1 第1項各号及び第9条の2-3 第1項第1号に掲げる体制

		保管場所	分類方法
規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第1項第1号に掲げる体制の確保状況	院内感染のための指針の策定状況	看護部 各病棟	
	院内感染のための委員会の開催状況	総務課	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	総務課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	総務課	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	画像診断科	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	画像診断科	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	画像診断科	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	画像診断科	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲 覧 責 任 者 氏 名	事務局長 小櫻 充久
閲 覧 担 当 者 氏 名	事務局 総務課長 斎藤 豊司
閲覧の求めに応じる場所	事務局

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

閲 覧 者 別	前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 件
	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 件
	地 方 公 共 団 体	延 件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹 介 率	#DIV/0!	算 定 期 間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			人

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 ・指針の主な内容 ・医療安全に関する基本的考え方 ・医療安全管理体制の整備 ・職員の教育・研修 ・医療事故防止のための具体的方策 ・医療事故発生時の対応 ・信頼性確保のための取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 ・活動の主な内容	年 回
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 ・研修の主な内容	年 回
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況 ・医療機関内における事故報告等の整備 ・その他の改善の方策の主な内容 ・関係委員会や部会において、原因分析、再発防止策等の検討を行い、必要なマニュアル類の整備及び院内研修会による職員教育を実施 ・東京海上日動メディカルサービス㈱とリスクマネジメント支援業務委託契約を締結し、専門家の観点からインシデント検証、調査、分析支援やリスクマネージャーからの相談体制を整備 ・弁護士と顧問契約を締結し、専門家の観点から助言	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 ・所属職員：専任(5)名 兼任(10)名 ・活動の主な内容 ・インシデント・アクシデントの分析、集計、再発防止策の検討及び実施 ・医療事故の分析、再発防止策の検討 ・医療の水準と患者満足度向上のための活動	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容	
1 院内感染対策に関する基本的考え方 ・院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針 ・感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 2 院内感染対策に関する組織 ・院内感染対策委員会 ・院内感染対策チーム	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 回
・活動の主な内容	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 回
・研修の主な内容	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	
・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
・その他の改善の方策の主な内容	
・院内感染対策マニュアル整備、院内感染サーベイランス実施、抗菌薬使用ガイドライン整備、 感染症 NEWS LETTERの発行 等	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容	年 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 ・手順書の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・業務の主な内容 ・医薬品安全管理手順書の見直し・改訂、麻薬テストの実施(年1回)、外来、病棟及び中央診療部門の医薬品点検(月1回) ・医薬品安全管理手順書、各種業務マニュアル、手順書は電子カルテのオンラインマニュアル、薬剤部ホームページに掲載し、常時参照可能としている。	年 1 回
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況 ・医薬品に係る情報の収集の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・その他の改善の方策の主な内容 ・平日毎朝、PMDAのwebsiteにて当センターの採用薬の添付文書PDFの改訂状況を把握しつつ、添付文書PDFをダウロードし、院内のサーバーに入れて院内より参照可能としている。 ・添付文書改訂や包装変更などについてはHTMLメールで全医師、看護師長以上の看護師、全薬剤師に配信すると同時に、院内LAN上に構築した薬剤部ホームページに掲載しておく。月毎の一覧だけでなく、検索機能を有しているので、過去の配信メールの検索も可能。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容	年 回
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 ・手順書の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・保守点検の主な内容 ・医療機器管理室、各部門スタッフによる日常点検、記録の作成及び保管 ・委託による定期的保守点検の実施	年 回
<p>H24年度保守点検実施状況 点検件数: 使用前点検、使用後点検、毎日点検、1ヶ月点検、(メーカー保守契約定期点検)を含む。 ・人工呼吸器: 355件(内、メーカー保守点検11件) ・輸液関連機器: 19330件(内、メーカー保守点検798件) ・補助循環機器: 24件(内、メーカー保守点検1件) ・除細動器: 3542件(内、メーカー保守点検14件)</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況 ・医療機器に係る情報の収集の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・その他の改善の方策の主な内容 ・PMDA及び医療機器メーカーからの情報収集 ・当該医療機器使用部署職員への注意喚起 ・MEニュース等による院内周知	